

平成 17 年 1 月 23 日

武庫川流域委員会  
委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会  
委員 伊藤益義

「治水計画の検討」質問事項

河川管理者から提示された資料につき委員会で検討するため下記資料をご提示頂きたい  
と思いますのでよろしくお願いします。

記

1. 流域平均雨量の算定

- (1) 既往降雨の検討(第 8 回資料 4 p.11 上段)でティーセン分割例がありますが、これを最近設置された雨量観測所(同資料 p.8 下段)でティーセン分割した場合を提示し、その両者を比較し評価したらいかなる結果となるか提示ください。
- (2) 上記既往降雨の各観測所毎の観測雨量とそれから流域平均雨量設定の課程を提示ください。
- (3) 流域平均雨量の設定に当たっては 16 年度第 23 号台風豪雨の数値も算入してください。

2. 計画降雨継続時間の設定

- (1) 各実績降雨の実績降雨グラフ(同資料 p.15 下段の図)を提示ください。
- (2) 洪水到達時間(=計画降雨継続時間)の設定方法について各方式毎(クラークヘン法、角屋式など)の計算方法及び特徴につき説明をいただきたい。(同資料 p.8 下段)また 6 時間を設定した根拠を説明いただきたい。
- (3) 武庫川の計画降雨継続時間を 24 時間とした根拠は何か。数値をもって説明ください。

3. 計画降雨量の設定

- (1) 計画降雨量設定時に使用される極値分析の各方式について、その算定方法を説明いただきたい。(同資料 p.18 下段)
- (2) 「上下流分割」は川の上下流とは別なのか?(同資料 p.22 下段)  
有馬川上流部が下流部に含まれている。
- (3) 1 / 5 0 0 確率雨量算定にグンベル分布を採用しているが、他の方式との評価はどうやって判定したのか、説明いただきたい。
- (4) 引伸ばし倍率 2.5 とした理由は何か。

以上